

憲法生かす運動広げよう

富山高齢者大会始まる

「憲法をくらしにいかに
みんなが輝く社会 平和
日本高齢者大会が12日、富



「笑いヨガ」で笑いにつつまれる日
本高齢者大会参加者＝12日、富山市

山市内で始まりました。40
の学習講座や分科会などが
開かれ、全国から約250
0人が参加。「まちから村
からの連絡でひとりぼっち
の高齢者をなくそう」と話
し合い、安倍政権がすすめ
る「戦争する国づくり」や
社会保障の解体攻撃に対
し、平和・福祉・人権を守
る運動を広げようと議論を
交わしました。↓関連⑤面

学習講座「辺野古の海に
も陸にも基地はいらない」
の講師をつとめた伊波洋一
・元沖縄県宜野湾市長は、
米軍普天間基地の閉鎖・撤
去などを求めて41市町村長
・議会議長らが署名した
「建白書」について「沖縄
の願いだ」と指摘。「県知
事選で翁長雄志さんを勝利
させ、県民の気持ちを表そ
う」と訴えました。

長野県松川村の村重光昭
さん(75)は東京大空襲の
火の海を逃げました。「安
倍首相が集団的自衛権行使
をきれいごとのようにいう
のは冗談じゃない。戦争は
とことん悲惨です。大会で
元気をもらい、地域に持ち
帰る」と語りました。

大阪府豊中市の中島信明
さん(65)は「退職した職
場では今、半数が非正規雇
用労働者です。若い世代の
将来を守る立場から高齢者
運動を考えたい」と話しま
した。

12日から富山市で開催されている第28回日本高齢者大会では、年金削減や認知症の問題、ひとりぼっちをなくす

ひとりぼっちをなくす

分科会「ひとりのぼっちをなくす」高年齢運動づくりにでは、各地の取り組みが交流されました。

日本高齢者運動連絡会の篠崎次男顧問が基調報告。ひとりぼっちとは単なる一人暮らしではなく、社会とのつながりが希薄か、まったくない高齢者・高齢世帯であることを紹介。孤立死の背景でもあり、何日間もまったく人と話さないなど、その暮らしが過酷だと指摘しました。

吉野さんは、規模や歴史の違う四つのたまり場を紹介。一部の人で運営するのではなく、参加者も準備から片付まで、「みんなでつくる」ことの大切さを語りました。篠崎さんは「人々の連帯でひとりぼっちをなくすことは、高齢期運動の社会的役割の要です。高齢者が今を生き抜くための課題として受け止め、実践していきましょう」と呼びかけました。

日本高齢者大会

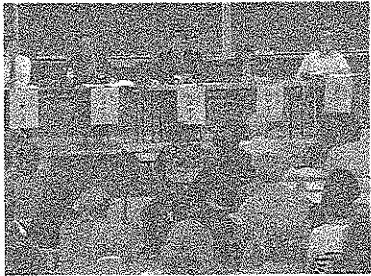
全国の運動・経験を交流

取り組みなど、多彩な分科会やシンポジウム、学習講座が開かれ、全国各地の運動や経験を交流しました。

認知症の人と家族を地域で支えることを考える分科会



「年金削減を許さず、だれもが安心して暮らせる年金制度に」と題する分科会



ひとりぼっちをなくす高年齢運動づくりにをテーマとする分科会12日、富山市



「家族は一人で悩まず、周りに相談することが大切」受診しづらい当事者には、検診などで医師との接点をつくり、医療につなげていくべきだ」などの意見が出ました。

山形県から参加した飯野信義さん(80)は「基調提案やグループでの話を聞いて、安倍政権には、国の税金を要支援1・2にまわすよう強く求めたいと思った」と話していました。

勝田さんは、必要な介護サービスをいつでも、だれでも受けられるよう求めるとともに、行政や地域包括センターの相談窓口で相談する場合は、認知症の早期発見につながらない25項目の「基本チェックリスト」ではなく、要介護認定を求めてほしいと呼びかけました。

参加者は、七つのグループに分かれて討論。「介護サービスを100%使おう」

認知症の人を家族で支える

分科会「認知症の人を家族で支える」には、認知症の当事者3人を含む70人が参加しました。

「認知症の人と家族の会」(略称・家族の会)富山県支部事務局長で国の社会保障審議会介護保険部会委員を務める勝田登志子さんが基調提案しました。

勝田さんは、全国で軽度

認知障害の人も含めて65歳以上の高齢者の28%、862万人が認知症になっていることを紹介。認知症を重度化させないためには、初期の段階で専門職によるケアが必要なのに、国は介護保険制度を改悪し、要支援1・2の人を介護保険からははずそうとしていると批判しました。

安心して暮らせる年金制度に

分科会「年金削減を許さず、だれもが安心して暮らせる年金制度に」には59人が参加しました。全日本年金者組合の久昌以明(きやうしやう・ともあき)副委員長が問題提起として、12万6000人余を組織した行政不

「ド」について、「年金を下げて『持続可能』にする制度では、国民の老後の生存権は保障されません」と指摘。「このまま下げ続けたら、現役世代はどうなってしまうのか。年金削減の流れを阻止することは国民的課題です」と強調しました。

会場からは、高齢者の生活の実態や今後の運動について多く「100年安心」ところか「ううか」と話しました。

らみ100年の年金制度だと思います」と話しました。福井県から参加した男性は「介護施設を利用している高齢者が、年金が下がったら今と同じ介護を受けられなくなるので、はと不安を語っています。生活を守る立場から、現役世代も含めた運動が重要ではないでしょうか」と話しました。